

目かくしウォーク



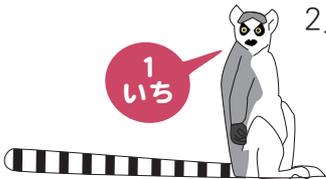
音（耳：聴）・匂（鼻）・触覚（手足）が鋭くなる。
広い範囲で感覚を必要とし、また感じ、発見し、再確認できる。

場所 森 人数 2人 用具 バンダナ

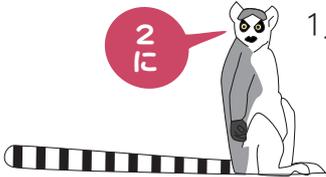


2人1組を作ります。

1
いち



2
に



1人が目隠しし、もう1人はガイド役になります。

3
さん



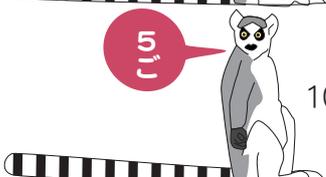
ガイド役に人は目隠しの人を丁寧に案内してあげます。ガイド役の人は木の幹や小さな草花、硬いもの、柔らかいもの、冷たいもの、暖かいものなど変化のあるものを触らせてあげます。そのようなものにガイドしてあげられるようにします。

4
よん



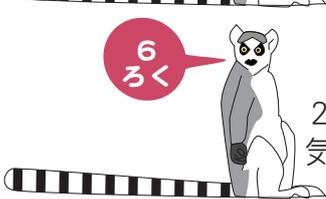
手で触れるだけでなく、匂いや音などにも意識してもらえるように、鼻や耳に軽く触れるなど、双方で合図を考えておくと言葉がなくても意志が伝わりやすいでしょう。

5
ご



10～15分たったら交代します。

6
ろく



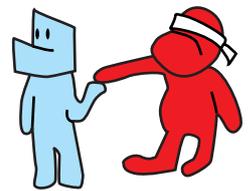
2人とも体験が終わったら、体験したことや感じたこと、気づいたことなどをわかちあいます。

7
なな



最後にヘレンケラーの「3日間の見える目」などを朗読することが多いです。

交代



どきどき
どきどき



POINT

言葉は一切なしです。
目隠しをした人が目以外の感覚に集中できるように配慮しましょう。
ウルシなどの危険な植物に気をつけましょう。

